

地域住民との合意形成を大切に

江戸廻米の集積地となった石巻は、川湊として栄えてきた。

旧北上川の河口は川湊としての活用が優先され、これまで無堤区間となっていた。

東日本大震災を受け、堤防整備が必要なことから、堤防整備の必要性や計画、スケジュールについて地域住民との合意形成を図るべく、延べ110日以上、1,600名以上を対象に説明を行った。

堤防整備に向けた地元説明の進め方

平成23年11月 発災8カ月

- 被災後の浸水リスクと**堤防整備の必要性**を説明
- ※石巻市の震災復興計画のパブコメ

平成23年12月 発災9カ月

- 現地地形測量**に入るための説明会
- 移転に期間を要する**大規模事業所に個別説明** (堤防整備の必要性、移転に対する意向確認)

平成24年1月 発災10カ月

- 堤防計画** (線形・高さ) の説明 (町内会単位・20町内会)

平成24年5月 発災14カ月

- 用地建物調査**・**護岸工事着手**、スケジュールについて説明

平成25年3月 発災25カ月

- 用地建物**調査結果**・スケジュールについて説明

事業の実施

堤防計画(案)の説明

[旧北上川河口部の例]

- 地区別の高さや敷幅の説明 [平成24年1月～3月]
- 堤防の位置、横断形状の説明 [平成24年3月～4月]
- 側道を含めた堤防計画の説明 [平成24年5月～8月]



平成24年3月～河川整備学識者懇談会の開催
平成24年11月14日 河川整備基本方針の変更
平成24年11月20日 河川整備計画の策定・変更

護岸矢板工事の着手 [平成25年1月～]



旧北上川河口部護岸復旧事業の着工式 [平成25年1月27日]